

## 市町村との意見交換会の概要

令和 2 年 1 月 11 日

関西広域連合本部事務局

■日	時	令和元年12月22日（日）15:30～17:30
■場	所	リーガロイヤルNCB 2階 松の間
■出席者		別紙名簿のとおり
■内容		1 関西広域連合の次期広域計画案等について ①第4期広域計画案について ②第2期関西創生戦略案について 2 その他 ・「ワールドマスターズゲームズ2021関西」に向けて 3 意見交換

1 本部事務局から、第4期広域計画案及び第2期関西創生戦略案について説明。続いて各委員より、それぞれの担当分野における第4期広域計画案の重点事項等についてコメント。また、ワールドマスターズゲームズ2021関西について、組織委員会より説明。

2 意見交換における主な発言概要      ○市町村長からの意見      ◆広域連合からの意見

## ○ 東川 奈良県御所市長

- ・首都機能のバックアップ構造の実現については計画案に記載されているが、首都機能の移転は考えていないのか。
- ・森林環境税が導入されるが、山は複数県に連なっており、そのマネジメントについては県や市町村だけではとてもできない。これについては関西広域連合が役立つと思っている。
- ・山と同じように川も行政区域は関係ない。琵琶湖・淀川流域では連携されているようだが本県では大和川があるが、奈良県だけではなく、大阪とも連携が必要。地勢に基づく山や川については広域連合でマネジメントが出来ないか。

## ◆ 井戸広域連合長

- ・首都機能の移転については国の議論が進んでおらず、これまで関西広域連合では首都機能の重要な要素である政府機関の移転について働きかけている。今後も国の動きを注視しながら対応していきたい。
- ・山の管理については地域によって特性が違う。それぞれのケースに分けて考える必要がある。
- ・川については防災機能の面から考えると流域毎での対応が不可欠。「琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会」ではその統合管理について3年間検討を続けてきており、今年度その結果がまとまる。来年度は具体的にどのように流域管理を進めて行くのか、そのフォローアップを行う予定であり、流域管理については今後も積極的に関与していく。

## ○ 桂川 京都府亀岡市長

- ・昨年亀岡市ではプラスチックごみゼロ宣言を行い、本年8月以降、全ての店舗でレジ袋有料化に取り組んできた。また来年3月議会でレジ袋の無償提供禁止条例の提案を準備している。
- ・広域連合ではプラスチックごみの発生抑制の具体的なアクションについてどのように考えているのか。
- ・関西の川にプラスチックごみが存在している状況の中で、広域連合の取組の方向性を打ち出してほしい。
- ・ワールドマスターズゲームズ、万博が今後開催予定であるが、観光客等に関して「おもてなし」をどのように考えているか教えてほしい。
- ・現在東京ではオリンピックに向けて街の美化について取組が進められている。関西としても魅力を高めていくべきであり、政策にしっかり取り入れて欲しい。

## ◆ 三日月委員

- ・プラスチックごみ対策は、発生抑制が重要であると認識している。
- ・広域連合ではそれぞれの自治体の優良事例の紹介や共有をしっかり行い、併せて普及啓発についても広域的に展開していきたい。
- ・本年、広域連合ではプラスチックごみ対策等について情報共有を行うプラットフォームをスタートさせた。今後も業界団体等と連携して機運醸成に努めていきたい。
- ・また環境保全及び産業の視点から、プラスチックごみに対する検討会を設置することを考えており、プラスチックごみの状況把握や代替プラスチックの普及可能性等についても検討していきたいと考えている。
- ・海については様々な取組や支援が国において行われているが、河川や湖沼内陸部については対応が薄い。広域連合としても知見の共有や支援等について国に働きかけていく。

## ◆ 井戸広域連合長

- ・おもてなしについては街並みを綺麗にすることと街路樹の管理をどうするかという課題がある。金銭面の問題もあるが、しっかり対応していきたい。
- ・関西観光本部と協力して広域観光ルートの設定も進めている。また防災アプリを活用し、安心感を持ってもらう対応も併せて進めていく。
- ・JRと私鉄の協力を得て、関西一円で使用できる「パス」を作成し、利便性の恒常についても進めて行く。
- ・また関西各地に観光客などの交流の場である「マスターズビレッジ」を設置する。このmini版を実施市町村で設置してもらえればありがたい。

## ◆ 近藤広域観光・文化・スポーツ振興局長

- ・広域連合としては広域観光の視点でこれまで取り組んできた。
- ・ハード面では、関西ワンパスといった交通環境。また関西Wi-Fi等、通信環境の整備も行ってきた。今後はソフト面でも対応を検討していく。

○ 太田 奈良県五條市長

- ・農業に関して、現在休耕農地が増加しており、また従事者も減少し、日本の農業は深刻な状況となって来ている。
- ・畑などは2年放置してしまうと元どおりには戻せない。
- ・広域連合で農業用地の運用について取り組んでいただきたい。

◆ 仁坂副広域連合長

- ・農業は大成長産業だと思っている。関西で一番伸びている産業は農業であり、売り上げも伸びている。
- ・しかし休耕地については、従事者の高齢化により、儲かっているのに後継者がいないという問題がある。国や各県等も取組を進めているが対策が進まない。
- ・スマート農業などにより、一人一人がマネジメントできる農地を多くし、生産性をあげていくことなどについて考えて行きたい。

○ 花本 徳島県上勝町長

- ・上勝町では「ゼロ・ウェイスト宣言」を行って16年になる。プラスチックごみ対策の優良事例の紹介についてお話があったが、是非取り組んでいただきたい。
- ・事業者団体と一緒に取り組んでいるプラットフォーム会議は非常に大事だと思っている。リサイクル等は生産者側を巻き込んでいかないと難しい。
- ・生産者側の意識も変えて行かないと、消費者側の取組にも限界がきている。

◆ 三日月委員

- ・生産者側の取組が重要であるということは認識している。
- ・環境保全の分野だけではなく、良い代替素材ができないか開発を促していく取組みを行って行きたい。

○ 古谷 兵庫県稲美町長

- ・兵庫県には12町があり、それぞれ課題を抱えており、また特色がある。
- ・稲美町には中国から医療目的で訪れる方が多くなってきている。
- ・生命科学の分野で日本は誇れる技術を持っている。

○ 後藤 大阪府吹田市長

- ・広域計画案の中でSDGsのマークが多いのは環境であり、地球レベルのことを自治体がコツコツやっている。
- ・現在大阪府では、淀川より北の区域は全てのレジ袋は有料となっているが、当初は中々取組が進まなかった。地球規模の話は市町村単位ではなく、少なくとも関西全体の広域で対応し、日本をリードするルールを作って欲しい。
- ・生物多様性等も同じで、最低でも関西全体で取り組むべきではないか。再生可能エネルギーについても全体で取り組めれば良いと思う。
- ・南海トラフ地震が発生したら、大阪府では淀川と大和川が存在することにより、3つの区域に分かれることが想定され、阪神間の連携が必要となる。
- ・山、河川、海、文化、歴史等による自治体の壁は、有事の際は取り払うべきだと思っている。

◆ 三日月委員

- ・レジ袋の取組については対策チームを作り、取組をどのように強化すべきか、いただいた意見も含めて検討していきたい。

◆ 井戸広域連合長

- ・大規模災害発生時には、県や府が個別に対応できないため、関西全体で取組むべきであり、これが広域連合設立のきっかけである。いただいた意見を踏まえて対応して行きたい。

◆ 仁坂副広域連合長

- ・プラスチックごみ対策についてはルールとして強制力を持つものを作らないと難しいと感じた。
- ・プラスチックごみのポイ捨て等を取り締まるべきだと考えており、和歌山県はこれを強化しようと思っている。
- ・防災に関しては、自治体の壁を越えた、地勢的なまとまりによるブロックでの連携が必要だと感じた。

○ 桂川 京都府亀岡市長

- ・ペットボトルが川等に捨てられている現実があり、デポジット制度を含めて国で対応してもらわないと本来は駄目だと思っている。
- ・モデル的に関西からデポジット制度の導入をお願いしたい。

○ 宮脇 鳥取県湯梨浜町長

- ・湯梨浜町ではグランドゴルフの国際化及び普及に努めている。スポーツツーリズムを進めるにあたり海外への働きかけが難しい。良い方法等があればご教示いただきたい。

◆ 井戸広域連合長

- ・姉妹都市、姉妹県を通じた働きかけが有効ではないか。また海外事務所を通じてPRすることも考えられる。
- ・しかし単に情報提供しても理解してもらえないので、海外のシニア大会等に出かけてデモンストレーションを行うことが有効ではないか。
- ・各府県の海外事務所は広域連合の海外事務所も兼ねており、これを活用し、できることは協力したい。

◆ 平井委員

- ・グランドゴルフはモンゴル等でも流行しており広がっている。是非キャンペーンを行って行きたい。

○ 和田 大阪府忠岡町長

- ・ワールドマスターズゲームズについては期待している。
- ・オリンピックの聖火リレーも始まるがワールドマスターズゲームズが埋没しないようにしないといけない。

○ 小谷 和歌山県みなべ町長

- ・農業全般に言えるが、儲かる農業を行えば後継者も残る。また良いものを作れば世界にも通用する。今後も良い循環を作って行きたい。

○ 上山 滋賀県高島市副市長

- ・関西圏でも台風による倒木の影響により送電線が切断され、大規模停電が起きている。
- ・来年度は林野庁においてその対策もされると聞いているが、1つの市町村で対策ができていても、隣接市町村も対策ができてなければその効果は薄く、足並みが揃うようお願いしたい。

○ 金村 兵庫県淡路市副市長

- ・1月17日は阪神淡路大震災発生から25年。関西から安心安全を発信してもらいたい。

○ 太田 大阪府松原市副市長

- ・来年はオリンピックが開催されるが、その後の活性化についてどのように考えているのか。東京では既にオリンピック後の活性化について議論が始まっている。関西の活性化については広域連合で議論を行って欲しい。

◆ 井戸広域連合長

- ・大規模停電対策については市町村と協力しながら解決していく課題だと思っている。
- ・安全安心の関西については是非発信していきたい。
- ・ワールドマスターズゲームズ、関西万博開催のあと、レガシーをどのようにして残していくか検討していく。地域の活性化を持続させていかなければならない。

**全体総括**

◆ 井戸広域連合長

- ・本日は活発な意見交換ができたと感じている。プラスチックごみ対策や防災、観光課題が大きくなっている表れだと思う。
- ・本日はこうした課題について広域対応が必要であるのご意見をいただいたので、構成府縣市や市町村と協力し、官民一体となって協力しながら解決していきたい。

## 市町村との意見交換会 出席者名簿

## (関西広域連合)

広域連合長	井戸 敏三	(兵庫県知事)
副広域連合長	仁坂 吉伸	(和歌山県知事)
委員	三日月 大造	(滋賀県知事)
委員	平井 伸治	(鳥取県知事)
副委員	山野 謙	(大阪府副知事)
副委員	村井 浩	(奈良県副知事)
副委員	後藤田 博	(徳島県知事)
副委員	鈴木 章一郎	(京都市副市長)
副委員	鍵田 剛	(大阪市副市長)
副委員	中野 時浩	(堺市副市長)
副委員	寺崎 秀俊	(神戸市副市長)
	近藤 健司	(京都府商工労働観光部観光政策監)

## (近畿市長会)

会長	東川 裕	(奈良県 御所市長)
副会長	門 康彦	(兵庫県 淡路市長) ※代理出席 金村 守雄 (淡路市副市長)
理事	桂川 孝裕	(京都府 亀岡市長)
理事	後藤 圭二	(大阪府 吹田市長)
理事	太田 好紀	(奈良県 五條市長)
監事	福井 正明	(滋賀県 高島市長) ※代理出席 上山 幸心 (高島市副市長)
相談役	澤井 宏文	(大阪府 松原市長) ※代理出席 太田 敏 (松原市副市長)

## (近畿府県町村会)

大阪府町村会長	会長	和田 吉衛	(大阪府 忠岡町長)
兵庫県町村会	副会長	古谷 博	(兵庫県 稲美町長)
和歌山県町村会	会長	小谷 芳正	(和歌山県 みなべ町長)

## (鳥取県町村会)

鳥取県町村会	会長	宮脇 正道	(鳥取県 湯梨浜町長)
--------	----	-------	-------------

## (徳島県町村会)

徳島県町村会	副会長	花本 靖	(徳島県 上勝町長)
--------	-----	------	------------